

平成 27 年度 第 2 回金沢区米軍施設建設・返還跡地利用対策協議会 議事要録

- 1 日 時 平成 27 年 7 月 16 日(木) 午前 10 時 30 分～12 時 30 分
- 2 場 所 金沢区役所 3 階 2・3 号会議室
- 3 出席者 金沢区米軍施設建設・返還跡地利用対策協議会 横井正巳会長ほか委員 12 名  
横浜市金沢区 國原章弘区長ほか 4 名  
横浜市政策局 青木治基地担当理事ほか 2 名  
防衛省南関東防衛局 伊藤哲也企画部長ほか 6 名

4 議 事

- (1) 池子住宅地区及び海軍補助施設（横浜市域）における米軍家族住宅等の建設について

【南関東防衛局企画部長より説明】

環境影響評価制度、整備工程（案）、埋蔵文化財調査について説明

（平成 27 年 4 月 23 日説明の補足説明）

【主な意見要旨】

ア 緑の保全・改変面積の更なる縮減について

(ア) 住宅戸数が 171 戸の必要性について改めて説明を受けたい。

(イ) 住宅戸数が 171 戸になったのだから、改変面積も減るのではないか。

(ウ) 相当高い法面となる盛土については、ゲリラ豪雨が来た時など、安全性が心配。

イ 都市計画道路横浜逗子線の整備について

(ア) 環境影響評価の結果、工事用車両の影響があるということで道路整備をする場合は「道路法」を適用するということによいか。また、米軍車両の影響があるということで道路整備をする場合は、「防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律」を適用するということによいか確認したい。

(イ) (27 年 4 月の資料に)「都市計画道路横浜逗子線の整備計画に基づいた県道金沢逗子線の整備（改良工事）について」とあるが、都市計画道路横浜逗子線を整備するということが間違いでないか。

(ウ) 都市計画道路横浜逗子線については、侍従川から三信住宅入口信号まで整備していただきたい。

(エ) 埋蔵文化財調査を行う際も試掘の段階から、工事車両が発生するので、事前に明らかにしていただきたい。

ウ 飛び地の早期返還と早期利用への全面的な協力について

(ア) 飛び地の返還は、工事の進行によるということだが、地元は少しでも早く利用させていただきたい。住宅の進行とは切り離して、地元の要求について検

討していただきたい。

- (イ) 単なる原っぱではなく、防災倉庫など、避難場所として早く整備していただきたい。

#### 【まとめ】

ア 本日の協議会での議論を踏まえ、以下の項目で横浜市へ要望書を提出する。

- (ア) 緑の保全・改変面積の更なる縮減について
- (イ) 道路・交通問題について
- (ウ) 建築計画について
- (エ) 住民への計画周知について
- (オ) 飛び地の早期返還と早期利用への全面的な協力について

イ 国には文書で回答を求めるとともに協議会にも回答の説明を求める。また、今後も必要に応じて、地元としての要望を出していく。

- (2) その他

事務連絡

## 5 資料

- (1) 次第

- (2) 「池子住宅地区及び海軍補助施設（横浜市域）における家族住宅等建設に係る地元要望への対応方針（補足）」の補足説明資料（南関東防衛局）

以上